

物資の袋詰め手伝う

第一学
院高生 メッセージを添えて

通信制高校「第一学
院高校長野キャンパ
ス」の岡田町の1、2
年生10人余は21日、
松本市のNPO法人
「ホットライン信州」
が能登半島地震の被災
者に届ける支援物資
の袋詰め作業を手伝っ
た。手書きのメッセ
ージカードを付けた手
提げ袋に化粧品や飲
料水、食品を詰め、1
00セットを用意し
た。

生徒は以前から、ボ

ランティアの選択授業
で同法人が市内で開く
「こども食堂」に参加
し、児童の相手をする
など運営に協力。同法
人が取り組む能登半島
地震被災者への支援に
も「できることがあれ
ば力になりたい」と協
力を申し出た。

品目別に分担し、流

能登半島 震災支援



支援物資を
袋に詰め込
む生徒

月上旬にも
同法人メン
バーが石川
県輪島市で
行う被災者
向け食事提
供の際に配
布する。

参加した
2年生の梶

れ作業で袋を回して各
物品を詰めた。メッセ
ージカードには「少し
でも早く日常が戻りま
すように」「あたたか
い明日を願っていま
す」などと書いた。4
川瑠李（るり）さんは
「自宅に戻れないなど
困難に直面する方々
に、少しでも笑顔にな
ってほしい」と積極的
に取り組んでいた。